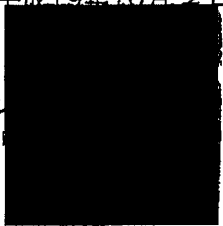


(様式第9)

国 循 発 1245号
平成19年10月2日

厚生労働大臣 舩添 要一 殿

国立循環器病センター
院長 友池 仁



国立循環器病センターの業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	128人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	125人	128人	221.0人	看護業務補助	22人	診療エックス線技師	
歯科医師		2人	0.3人	理学療法士	7人	臨床臨床検査技師	59人
薬剤師	22人	9人	28.7人	作業療法士		衛生検査技師	
保健師				視能訓練士	1人	検査その他	
助産師	14人		14.0人	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看護師	549人	4人	552.0人	臨床工学技士	16人	医療社会事業従事者	1人
准看護師				栄養士	3人	その他の技術員	6人
歯科衛生士				歯科技工士		事務職員	53人
管理栄養士				診療放射線技師	39人	その他の職員	19人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	539.2人	0.0人	539.2人
1日当たり平均外来患者数	757.5人	2.7人	760.2人
1日当たり平均調剤数			692剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	29人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input type="radio"/> 無	人
・臍腫瘍に対する腹腔鏡補助下臍切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スクレーピングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7/人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	13人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	194人
・多発性硬化症	6人	・ウェグナー肉芽腫症	0人
・重症筋無力症	3人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	263人
・全身性エリテマトーデス	26人	・多系統萎縮症	2人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	2人	・膿疱性乾癬	0人
・サルコイドーシス	21人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	0人	・原発性胆汁性肝硬変	1人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	14人	・重症急性膵炎	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	10人	・特発性大腿骨頭壊死症	0人
・結節性動脈周囲炎	0人	・混合性結合組織病	10人
・潰瘍性大腸炎	9人	・原発性免疫不全症候群	2人
・大動脈炎症候群	76人	・特発性間質性肺炎	26人
・ビュルガー病	0人	・網膜色素変性症	4人
・天疱瘡	0人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	8人	・原発性肺高血圧症	144人
・クローン病	0人	・神経線維腫症	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	3人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	24人	・特発性慢性肺血拴塞栓症(肺高血圧型)	23人
・アミロイドーシス	1人	・ラインゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	11人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	54回	
剖検の状況	剖検症例数 21例	剖検率 39.2%

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
生体内安定性と抗菌性発現の制御機能を持ったインテリジェント型インプラント材料の開発	古菌 勉	生体工学部	5,980,000	補委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
体性幹細胞を用いた血管の再生と微小欠陥造影による臨床評価	永谷 憲歳	再生医療部	4,420,000	補委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
超高感度分析を目的とした携帯用試料表面微量ガス採取システムの開発と多目的応用	下内 章人	病因部	8,151,000	補委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
自律神経制御による心筋梗塞の画期的治療法の開発：非侵襲的頸部吸引装置の開発	神谷 厚範	循環動態機能部	6,721,000	補委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
患者に合わせて鍼刺激を自動調整し、ヒト自律神経を確実に治療するサーボ電気鍼臨床実用装置の開発	神谷 厚範	循環動態機能部	6,500,000	補委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
組織再生用バイオキャストフォルドの開発	藤里 俊哉	再生医療部	15,400,000	補委 科学技術振興調整費
自己細胞移植再生医工学における細胞播種手技の確立とPETによる組織再生過程の追跡	山岡 哲二	生体工学部	6,085,000	補委 原子力試験研究費
心不全の診療支援のためのSPECT/PETによる新しい心臓機能解析の技術開発と臨床評価	石田 良雄	特殊病棟部	2,268,000	補委 原子力試験研究費
PET胸部検査における体動補正システムの開発と定量的心筋機能評価の迅速・高精度化	渡部 浩司	放射線医学部	5,724,000	補委 原子力試験研究費
マイクロSPECTを利用した機能画像の定量化と循環器病の実験的治療研究への応用	飯田 秀博	放射線医学部	9,717,000	補委 原子力試験研究費
非侵襲的神経新生誘導技術の開発と実験的損傷脳への応用	柳本 広二	病因部	6,370,000	補委 文部科学省科学研究費
呼気ガス質量分析診断法の開発と臨床応用	下内 章人	病因部	6,240,000	補委 文部科学省科学研究費
循環器系人工組織のプレインプラントーションによる体内自己組織化	中谷 武嗣	臓器移植部	22,620,000	補委 文部科学省科学研究費
緊急使用および長期使用が可能な抗凝固療法不要の次世代型PCPS装置の実用化開発	巽 英介	研究評価室	11,050,000	補委 文部科学省科学研究費
造血幹細胞特異的吸着性表面を有する生体吸収性スキャホールドを用いた血管組織再生	山岡 哲二	生体工学部	3,200,000	補委 文部科学省科学研究費
動脈硬化惹起性高トリグリセリド血症の成因診断法の確立・予防法および治療薬の開発	池田 康行	病因部	5,000,000	補委 文部科学省科学研究費
RasファミリーG蛋白質Rap1・R-Rasによる血管内皮細胞間接着の研究	望月 直樹	循環器形態部	3,500,000	補委 文部科学省科学研究費
糖尿病予防の長期介入研究－実践支援型教材による長期効果の有効性の検討	岡山 明	予防検診部	3,900,000	補委 文部科学省科学研究費

小計18件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血栓性血小板減少性紫斑病の原因遺伝子ADAMTS13の研究	宮田 敏行	病因部	4,400,000	補委 文部科学省科学研究費
恒久的使用を目的とした次世代型体内埋込み式補助人工心臓システムの総合実用化研究	本間 章彦	人工臓器部	4,900,000	補委 文部科学省科学研究費
総合的人体シミュレーションを目指したバーチャル心臓の機能モジュール化の研究	中沢 一雄	研究機器管理室	8,190,000	補委 文部科学省科学研究費
ターボ血液ポンプの適用範囲拡大を目指したポンプの多段化に関する研究	築谷 朋典	人工臓器部	4,030,000	補委 文部科学省科学研究費
循環器機能異常とそれに起因する臓器障害メカニズムの解明	沢村 達也	脈管生理部	9,880,000	補委 文部科学省科学研究費
ペプチドーム解析に基づく組織特異的なプロセッシング予測法の開発	南野 直人	薬理部	7,020,000	補委 文部科学省科学研究費
光コヒーレンス断層法による脳微小循環と神経活動の時空間カップリングの解析	関 淳二	生体工学部	900,000	補委 文部科学省科学研究費
微小振動入力法による心筋細胞の時変エラストランス測定法の開発	宍戸 稔聡	循環動態機能部	1,400,000	補委 文部科学省科学研究費
健康推進活動を目指す疾患関連遺伝子の新規網羅的変異部位釣り上げ法の開発と応用	高木 敦子	薬理部	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
フォンビルブランド因子切断酵素ADAMTS13の生理生化学的解析	小亀 浩市	脈管生理部	1,800,000	補委 文部科学省科学研究費
Ca ²⁺ 結合タンパク質NCS-1の細胞死抑制作用：その発見と分子機構の解明	西谷 友重	循環分子生理部	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
Nkx2-5の発現と心筋分化誘導・決定に関わる転写調節因子の同定と解析	日高 京子	バイオサイエンス部	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
安静時代謝量を用いた代謝症候群の予防法に関する研究	小久保 喜弘	予防検診部	1,400,000	補委 文部科学省科学研究費
新たに同定した摂食調節関連ペプチドの機能解析および新規摂食調節ペプチドの探索	宮里 幹也	生化学部	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
ダイアリシス法による虚血心筋傷害と再灌流心筋傷害の定量解析	高内 裕司	手術部	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費
コンピューター制御による、急性心筋梗塞後の循環管理を支援するシステムの開発	上村 和紀	循環動態機能部	2,000,000	補委 文部科学省科学研究費
筋スクレオチド代謝とAMP活性化プロテインキナーゼに関する機能解析	森崎 隆幸	バイオサイエンス部	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
カーボンナノ粒子のエピジェネティックな遺伝的影響と機能	丹羽 保晴	疫学部	1,600,000	補委 文部科学省科学研究費

小計18件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心筋症・心不全発症における伸展刺激感受性チャネルの病態的役割	岩田 裕子	循環分子生理部	1,900,000	補委 文部科学省科学研究費
生理活性ペプチドの細胞分化促進作用を応用した新しい動脈硬化治療法の開発	堀尾 武史	第一病棟部	2,200,000	補委 文部科学省科学研究費
BNP-3bの心・血管系における生理作用および病態生理学的意義の解明	日野 純	生化学部	2,600,000	補委 文部科学省科学研究費
変異導入方を用いたβ3インテグリンに関わるシグナル伝達分子の同定	本田 繁則	病因部	2,200,000	補委 文部科学省科学研究費
脳虚血後の環境要因が与える脳機能再生メカニズムの解明：脳血流量と神経再生との関連	横田 千晶	第一病棟部	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
心拍出量を増加させる閉ループ心周期人工呼吸の開発	神谷 厚範	循環動態機能部	2,200,000	補委 文部科学省科学研究費
チミジンホスホリラーゼによる肺腺癌浸潤能増強作用の分子機構の解明	佐田 誠	臨床検査部	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
心筋内移植細胞に対して機械的補助循環が与える力学的特性に関する研究	本間 章彦	人工臓器部	500,000	補委 文部科学省科学研究費
日常生活活動におけるストレスの定量的評価法の開発と臨床応用	下内 章人	病因部	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
ストレッチ感受性Ca ²⁺ チャネルを標的にした筋変性疾患治療薬物の開発	若林 繁夫	循環分子生理部	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
循環調節ペプチドを用いた新たな難治性肺疾患治療の開発	永谷 憲歳	再生医療部	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
虚血性心疾患・動脈硬化症の早期診断におけるFDG-PET検診の有用性に関する研究	福島 和人	放射線診療部	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費
埋め込み型医用機器使用時の感染防御に有用な新規皮膚貫通部被覆デバイスの開発	巽 英介	研究評価室	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
新しい原理に基づく低エネルギー除細動法の開発に関する基礎研究	稲垣 正司	循環動態機能部	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
トロポニン・トロポミオシン複合体のX線結晶構造解析	武田 壮一	心臓生理部	7,020,000	補委 文部科学省科学研究費
光学式トラッキング装置を用いた腫瘍検査のための画像自動重ね合わせシステムの開発	渡部 浩司	放射線医学部	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
RNAi法を用いたヒトがんの増殖、進展の制御の研究	孫 春蘭	バイオサイエンス部	1,600,000	補委 文部科学省科学研究費
脳賦活時の脳血流・酸素代謝解離現象のメカニズム	林 拓也	放射線医学部	800,000	補委 文部科学省科学研究費

小計18件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脂肪酸及び糖鎖修飾された軟骨魚類の新しいタイプのグレリンの構造決定とその機能解析	海谷 啓之	生化学部	1,900,000	補委 文部科学省科学研究費
低分子量G蛋白質Rap1によるVE-Cadherin活性制御機構の解明	福原 茂朋	循環器形態部	1,600,000	補委 文部科学省科学研究費
ナトリウム利尿ペプチドを用いた心筋再生・リモデリング制御の可能性	川上 利香	緊急部	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費
心血管系でのGabファミリー蛋白質の機能解析	中岡 良和	循環器形態部	1,400,000	補委 文部科学省科学研究費
腎系球体修復に関わる新規podocyte由来分泌因子の同定と糸球体再生治療の開発	澤井 一智	生化学部	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費
糖尿病性腎症の発症、進展に関する新規moleculeの探索	榎野 久士	総合外来部	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
新規循環調節ペプチドの探索と機能解析に関する研究	吉田 守克	生化学部	1,800,000	補委 文部科学省科学研究費
F0遺伝子ノックダウン法を用いた、心筋分化誘導・決定に関わる新規因子の同定と解析	白井 学	バイオサイエンス部	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
アディポネクチンの慢性心不全改善効果に関する基礎検討とその治療を目指した臨床応用	浅沼 博司	循環動態機能部	2,700,000	補委 文部科学省科学研究費
新規オーファンGPCRリガンドの探索と機能解析による新たな内分泌調整機構の解明	森 健二	生化学部	1,800,000	補委 文部科学省科学研究費
遺伝子改変マウスを用いたADAMTS13のin vivo機能解析	坂野 史明	脈管生理部	1,800,000	補委 文部科学省科学研究費
Na ⁺ /H ⁺ アンチポータの機能制御複合体を構成する新規タンパク質の探索	若林 繁夫	循環分子生理部	2,400,000	補委 文部科学省科学研究費
G蛋白質シグナルによる物質輸送ダイナミズムのバイオイメージング解析	望月 直樹	循環器形態部	13,600,000	補委 文部科学省科学研究費
膜プロトンセンサーの細胞内イオンセンサーとの相互作用による活性制御機構の解明	若林 繁夫	循環分子生理部	12,900,000	補委 文部科学省科学研究費
クロマチン構造変換を介した心筋変性発症機序の解明～心臓のエピジェネティクス～	朝野 仁裕	循環動態機能部	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費
魚類で発見された新規心室性ナトリウム利尿ペプチド：哺乳類でその存在と機能を探る	川越 暁	生化学部	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費
人工心臓における機械弁でのキャビテーションの観察および定量化に関する研究	妙中 義之 LEE, H.	人工臓器部	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
Na ⁺ /H ⁺ 交換輸送体制御因子CHPの結晶構造の決定とそれに基づく機能解析	若林 繁夫 BEN AMMAR, Y.	循環分子生理部	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費

小計18件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
超高解像度分子イメージング装置と新規治療評価システムの構築	飯田 秀博 SOHLBERG, A..O.	放射線医学部	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
ソマトポーズに対するグレリンの臨床応用と基盤的研究	寒川 賢治	人工臓器部	3,900,000	補委 厚生労働省科学研究費
ナノテクノロジーによる機能的・構造的生体代替デバイスの開発	杉町 勝	循環動態機能部	99,104,000	補委 厚生労働省科学研究費
ナノレベルイメージングによる分子の機能および構造解析	盛 英三	心臓生理部	136,980,000	補委 厚生労働省科学研究費
逆コンプトン散乱X線源を用いた医用イメージング法の開発	盛 英三	心臓生理部	28,800,000	補委 厚生労働省科学研究費
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	清水 渉	臨床検査部	48,750,000	補委 厚生労働省科学研究費
心筋微小血管造影装置の開発による糖尿病性心筋微小循環障害の可視化	盛 英三	心臓生理部	40,000,000	補委 厚生労働省科学研究費
急性心不全とその関連疾患に対するより効果的かつ効率的な治療等の確立に関する臨床研究—院外心停止者の救命率向上に対する自動体外式除細動器を用いた心臓蘇生法の普及とエビデンス確立のためウツタイン様式を用いた大規模臨床研究—	野々木 宏	緊急部	60,000,000	補委 厚生労働省科学研究費
脳卒中地域医療におけるインディケータの選定と監査システム開発に関する研究	峰松 一夫	リハビリテーション	50,000,000	補委 厚生労働省科学研究費
脳梗塞急性期から開始する筋萎縮阻止薬療法が慢性期運動機能に与える影響に関する研究	成富 博章	臨床心理部	16,800,000	補委 厚生労働省科学研究費
MRIと核医学手法の正確な重ね合わせ技術に基づく癌の新しい分子イメージング診断法	飯田 秀博	放射線医学部	26,520,000	補委 厚生労働省科学研究費
遺伝子多型検索による高血圧個別化診療の確立に関する研究	河野 雄平	第一病棟部	56,160,000	補委 厚生労働省科学研究費
難治性循環器疾患を克服する超小型ナノ神経センサー兼刺激治療装置の開発	神谷 厚範	循環胴体機能部	46,800,000	補委 厚生労働省科学研究費
植込み型突然死防止装置の開発	杉町 勝	循環胴体機能部	139,020,000	補委 厚生労働省科学研究費
間葉系幹細胞を用いた心筋血管再生療法の基礎及び臨床研究	北村 惣一郎	総長	48,100,000	補委 厚生労働省科学研究費
血小板血栓形成を制御する遺伝子の同定とその成果を用いた予防と治療の個別化	宮田 敏行	病因部	49,725,000	補委 厚生労働省科学研究費
脱細胞化スキャフォールドを用いる新規再生筋組織作製の基礎研究	江橋 具	再生医療部	5,000,000	補委 厚生労働省科学研究費
再生医療技術を応用したテーラーメイド型代替血管・心臓弁の臨床応用に関する研究	中谷 武嗣	臓器移植部	25,500,000	補委 厚生労働省科学研究費

小計18件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
特発性心筋症に関する調査研究	友池 仁暢	病院長	44,200,000	補 委 厚生労働省科学研究費
医療機器分野の臨床評価ガイドラインの作成に関する研究	妙中 義之	人工臓器部	4,450,000	補 委 厚生労働省科学研究費
新生児重症心疾患に対する予後向上のための77歳心エコー画像による遠隔診断と新生児心疾患救急診療77歳確立に関する臨床研究	越後 茂之	臨床栄養部	20,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
循環器疾患に対する根拠に基づく鍼治療の開発	川田 徹	循環動態機能部	5,500,000	補 委 厚生労働省科学研究費
循環器病発症と重症化に及ぼす性差と最適治療法の探索に関する研究	友池 仁暢	病院長	10,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
乳幼児死亡と妊産婦死亡の分析と提言に関する研究	池田 智明	周産期治療部	29,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
定量的神経画像による線条体疾患の病態解明と治療法開発	飯田 秀博	放射線医学部	17,600,000	補 委 厚生労働省科学研究費
細胞組織工学的手法を用いた中枢神経障害に対する根治的治療法の開発	田口 明彦	循環動態機能部	22,800,000	補 委 厚生労働省科学研究費
弓部大動脈全置換術における超低体温療法と中等度低体温療法のランダム化比較試験	荻野 均	外来部	20,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
食後血糖上昇の抑制による心筋梗塞二次予防に関する大規模薬剤介入臨床研究	北風 政史	臨床研究開発部	20,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
内シャント狭窄治療を目的としたナノセラミックス複合化ステントグラフトの開発	古菌 勉	生体工学部	27,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
抗凝薬・抗血小板薬の標的およびこれら薬剤を修飾するタンパク質・遺伝子の解析を通じた最適投与量の評価方法の標準化に関する研究	宮田 敏行	病因部	13,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
内頸動脈閉塞症にともなう血行力学的脳梗塞の発症予防に関する研究	宮本 享	特殊病棟部	20,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
急性循環器疾患の発症登録による発症病態分析と要因解明および治療効果の評価および活用に関する研究	岡山 明	予防検診部	43,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
弓部大動脈全置換術における超低体温療法と中等度低体温療法のランダム化比較試験(若手医師・協力者活用に関する研究)	荻野 均	外来部	14,524,000	補 委 厚生労働省科学研究費
食後血糖上昇の抑制による心筋梗塞二次予防に関する大規模薬剤介入臨床研究	北風 政史	臨床研究開発部	15,080,000	補 委 厚生労働省科学研究費
心筋微小血管造影装置の開発による糖尿病性心筋微小循環障害の可視化	竹下 聡	生理機能検査部	14,160,000	補 委 厚生労働省科学研究費
急性心不全とその関連疾患に対するより効果的かつ効率的な治療等の確立に関する臨床研究-院外心停止者の救命率向上に対する自動体外式除細動器を用いた心臓蘇生法の普及とエビデンス確立のためウツタイン様式を用いた大規模臨床研究-	野々木 宏	緊急部	18,983,000	補 委 厚生労働省科学研究費

小計18件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
医師主導型治験の調整管理に関する研究【アルガトロバン】	山本 晴子	臨床研究開発部	93,171,000	補 委 厚生労働省科学研究費
医師主導型治験の実施に関する研究【アルガトロバン】	友池 仁暢	病院長	2,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
環境ナノ粒子の動脈硬化促進メカニズムの解明	岩井 直温	疫学部	18,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
新規ミスマッチDNA特異的修飾試薬を用いた全ゲノムからの既知および未知の生活習慣病関連遺伝子のSNPs検出システムの開発	池田 康行	病因部	5,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
動脈硬化症と血栓症にかかわるスフィンゴシン 1-リン酸 (S1P) 受容体 (S1P3) の拮抗薬の開発	望月 直樹	循環器形態部	8,160,000	補 委 厚生労働省科学研究費
循環器病疾患領域における大規模臨床研究の手法に係る研究	山本 晴子	臨床研究開発部	1,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
生活習慣病領域における臨床研究のインフラストラクチャー創生とその応用に関する基盤研究	山本 晴子	臨床研究開発部	78,000,000	補 委 厚生労働省科学研究費
循環器病臨床評価指標の質的向上と効果的活用法の研究	岡山 明	予防検診部	31,200,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
素因遺伝子遺伝型に基づく循環器疾患の治療・予防対策の最適化	森崎 隆幸	バイオサイエンス部	12,900,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
心血管病の新しい疾患単位としてのメタボリックシンドロームに関する研究	吉政 康直	外来部	11,600,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
無症候性Brugada症候群の予後に関する研究 (多施設共同継続研究)	鎌倉 史郎	臨床検査部	15,950,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
脳動脈瘤に対する血管内手術に関する研究	宮本 享	特殊病棟部	14,500,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
高齢者心不全の治療戦略に関する研究	北風 政史	臨床研究開発部	16,500,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
骨髄幹細胞及び循環調節ペプチドを用いた心血管再生に関する多施設共同研究	永谷 憲歳	再生医療部	27,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
脳卒中、脳血管性痴呆症に対する再生医療技術を用いた治療法の開発に関する研究	田口 明彦	循環動態機能部	9,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
虚血性心疾患の手術死亡率および合併症発症率改善のための多施設共同研究	畔 政和	手術部	14,200,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
ゲノム・プロテオームネットワーク解析に基づく循環器疾患の診断・治療法開発の基盤研究	南野 直人	薬理部	32,700,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
術後冠状動脈造影に基づいたバイパスグラフトの選択と使用方法に関するガイドライン作成のための日米多施設共同研究	小林 順二郎	第二病棟部	16,500,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費

小計18件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
循環器系先進医療機器の評価体系構築に関する研究	巽 英介	研究評価室	15,800,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
心臓血管外科手術周術期における輸血療法の効率化、適正化に関する研究	萩野 均	外来部	17,400,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
わが国における循環器疾患の発症、治療成績集計とガイドライン作成等のデータ・ベース利用の確立	中谷 敏	外来部	27,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
医工学的再生治療技術に関する分野横断的研究	山岡 哲二	生体工学部	11,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
難治性循環器疾患の総合的な対策に関する研究	中谷 武嗣	臓器移植部	30,237,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
臍帯血及び胎児付属物を用いた循環器疾患に対する再生医療に関する研究	池田 智明	周産期治療部	30,500,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
粥状硬化性機序による難治性脳梗塞の診断・治療・予防に関する研究	成富 博章	臨床心理部	30,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
急性期脳梗塞の血圧動態と降圧療法に関する研究	宮下 光太郎	臨床心理部	20,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
拡張性動脈硬化疾患における破裂の予測的画像診断法の開発と確立に関する研究	内藤 博昭	放射線診療部	10,200,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
脳血管解離の病態と治療法の開発	峰松 一夫	リハビリテーション部	43,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
先天性心疾患の臨床情報データベース化と遺伝子情報との結合による基礎・臨床の総合研究	越後 茂之	臨床栄養部	9,750,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
メタボリック・シンドロームの発症予防に資する胎児期・乳幼児期の関連要因の解明に関する研究	宮本 恵宏	臨床研究開発部	15,000,000	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

小計12件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

合計138件

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
厚生指標	吹田市基本健診での生活習慣とメタボリックシンドロームに関する研究	友池 仁暢	病院長
N Eng J Med	Retinol-binding protein 4 and insulin resistance.	友池 仁暢	病院長
Arterioscler Thromb Vasc Biol.	Hereditary postprandial hypertriglyceridemic rabbit exhibits insulin resistance and central obesity. A novel model of metabolic syndrome.	友池 仁暢	病院長
Circulation	Common sodium channel promoter haplotype in Asian subjects underlies variability in cardiac conduction.	鎌倉 史郎	心臓血管内科
Circulation	Genotype-specific onset of arrhythmias in congenital long QT syndrome: Possible therapy implications.	鎌倉 史郎	心臓血管内科
J Am Coll Cardiol	Cellular basis for trigger and maintenance of ventricular fibrillation in the Brugada syndrome model High-resolution optical mapping study.	鎌倉 史郎	心臓血管内科
Journal of the American Society of Echocardiography	Acute improvement in myocardial function assessed by myocardial strain and strain rate after aortic valve replacement for aortic stenosis.	北風 政史	心臓血管内科
J Am Coll Cardiol	Impact of blockade of histamine H ₂ receptors on chronic heart failure revealed by retrospective and prospective randomized studies.	北風 政史	心臓血管内科
EMBO Journal	Glycosaminoglycan modification of Neuropilin-1 modulates VEGFR2 signaling.	北風 政史	心臓血管内科
JCP	Prevention of Life-Threatening Ventricular Tachyarrhythmia by a Novel and Pure Class-III Agent, Nifekalant Hydrochloride.	野々木 宏	心臓血管内科
European Heart J	Intensive treatment of risk factors in patients with type-2 diabetes mellitus is associated with improvement of endothelial function coupled with a reduction in the levels of plasma asymmetric dimethylarginine and endogenous inhibitor of nitric oxide synthase.	野々木 宏	心臓血管内科
Circulation	Unblinded pilot study of autologous transplantation of bone marrow mononuclear cells in patients with thromboangiitis obliterans.	野々木 宏	心臓血管内科

小計12件

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cerebrovasc Dis	Modified Rankin Scale with expanded guidance scheme and interview questionnaire: interrater agreement and reproducibility of assessment.	峰松 一夫	脳血管内科
Stroke	Alteplase at 0.6 mg/kg for acute ischemic stroke within 3 hours of onset. Japan Alteplase Clinical Trial (J-ACT).	峰松 一夫	脳血管内科
Neurology	Thrombus formation during cerebrovascular catheterization in heparin-induced thrombocytopenia.	河野 浩之	脳血管内科
Cerebrovasc Dis	Moderate atheroma of the aortic arch and the risk of stroke.	成富 博章	脳血管内科
Am J Hypert	Primary intracerebral hemorrhage during asleep period.	成富 博章	脳血管内科
Cerebrovasc Dis	Early CT findings in unknown-onset and wake-up strokes.	成富 博章	脳血管内科
Hypertension	Uric acid, left ventricular mass index, and risk of cardiovascular disease in essential hypertension.	河野 雄平	高血圧・腎臓内科
Hypertens Res	Genetic variation of HSD11B2 in hypertensive patients and in the general population: six rare missense/frameshift mutations.	河野 雄平	高血圧・腎臓内科
Am J Hypertens	Masked hypertension and target organ damage in treated hypertensive patients.	河野 雄平	高血圧・腎臓内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol	Inflammatory Response to a cute myocardial infarction augments neointimal hyperplasia after vascular injury in a remote artery.	吉政 康直	動脈硬化・代謝部門
Diabetes	Altered gene expression related to glomerulogenesis and podocyte structure in early diabetic nephropathy of db/db mice and its restoration by pioglitazone.	吉政 康直	動脈硬化・代謝部門
Diabetologia	Transgenic overexpression of brain natriuretic peptide prevents the progression of diabetic nephropathy in mice.	吉政 康直	動脈硬化・代謝部門

小計12件

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題 名	発表者氏名	所属部門
Ann Thorac Surg	Functional angiographic evaluation of individual, sequential, and composite arterial grafts.	小林順二郎	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg	Angiographic flow grading and graft arrangement of arterial conduits.	小林順二郎	心臓血管外科
Eur J Cardiothorac Surg	Graft design strategies with optimum antegrade bypass flow in total arterial off-pump coronary artery bypass.	小林順二郎	心臓血管外科
Japan Medical Association Journal	Acute Treatment of Ruptured Cerebral Aneurysm.	宮本 享	脳血管外科
NEUROSURGERY	Acceleration of Aneurysm Healing by Hollow Fiber Enabling the Controlled Release of Basic Fibroblast Growth Factor.	宮本 享	脳血管外科
J Neurosurg	Outcome of carotid endarterectomy and stent insertion based on grading of carotid endarterectomy risk: a 7-year prospective study.	飯原 弘二	脳血管外科
Pediatr Res	Endotoxin-induced hypoxic-ischemic tolerance is mediated by up-regulation of corticosterone in neonatal rat.	池田 智明	周産期科
Pediatr Res	Rehabilitative training tasks improve spatial learning impairment in the water maze following hypoxic-ischemic insult in neonatal rats.	池田 智明	周産期科
Neurol Res	Temporal profile of neural stem cell proliferation in the subventricular zone after ischemia/hypoxia in the neonatal rat brain.	池田 智明	周産期科
外科治療	心臓移植の現状と展望 心臓および心肺移植	中谷 武嗣	臓器移植部
Circulation J	Pharmacokinetic study and limited sampling strategy of cyclosporine in Japanese heart transplant recipients.	中谷 武嗣	臓器移植部
心臓	わが国における人工心臓の現状と将来展望（世界の状況もふまえて）	中谷 武嗣	臓器移植部

小計12件

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J. Nucl. Med.	FDG can identify the inflammatory activity of aortic aneurysmal disease.	石田 良雄	放射線診療部
J. Nucl. Med.	Does coronary microcirculatory disorder participate in Pathogenesis of Takotsubo cardiomyopathy? Estimation by N-13 ammonia PET.	石田 良雄	放射線診療部
呼吸と循環	Positron Emission Tomography (PET) による心不全へのアプローチ	石田 良雄	放射線診療部

小計 3件
合計39件

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 友池 仁暢
管理担当者氏名	庶務課長 佃 龍、医事課長 岡川次郎、調査課長 奥田隆、薬剤部長 森下秀樹

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		運営局調査課 (病歴室)	病歴資料については、カルテ、X線フィルムとも入院、外来を含む1患者1ファイル方式とし、コンピュータにより集中管理している。特にカルテは膨大であり効率的に管理するため、アクティブカルテとインアクティブカルテに区分して管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	運営局庶務課	/
	高度の医療の提供の実績	運営局医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	運営局政策医療企画課	
	高度の医療の研修の実績	運営局政策医療企画課	
	閲覧実績	運営局調査課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	運営局医事課	
入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	運営局医事課		
確保の状況 第9条の2及び第11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全推進室	/
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	院内感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	医療安全推進室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	運営局医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	運営局医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	運営部長 梅田 勝
閲覧担当者氏名	庶務課長 伊 藤 龍、医事課長 岡川次郎、調査課長 奥田隆
閲覧の求めに応じる場所	カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医 師	延	0件
	歯 科 医 師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	96.9 %	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		6,754人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,275人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,116人
	D: 初診の患者の数		8,444人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (/ 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (/ 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
・ 所属職員： 専任 (/) 名 兼任 (20) 名 ・ 活動の主な内容： 資料 1 参照	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無
・ 指針の主な内容： 資料 2 参照	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 資料 3 参照	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 20 回
・ 研修の主な内容： 資料 4 参照	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	(有) ・ 無)
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 資料 5 参照	